

環境保全のための我孫子市率先行動計画
我孫子市地球温暖化対策実行計画

あびこエコ・プロジェクト 3

2010(平成 22)年度温室効果ガス排出量調査結果報告書

2011(平成 23)年 10 月

我 孫 子 市

目 次

温室効果ガス総排出量の削減

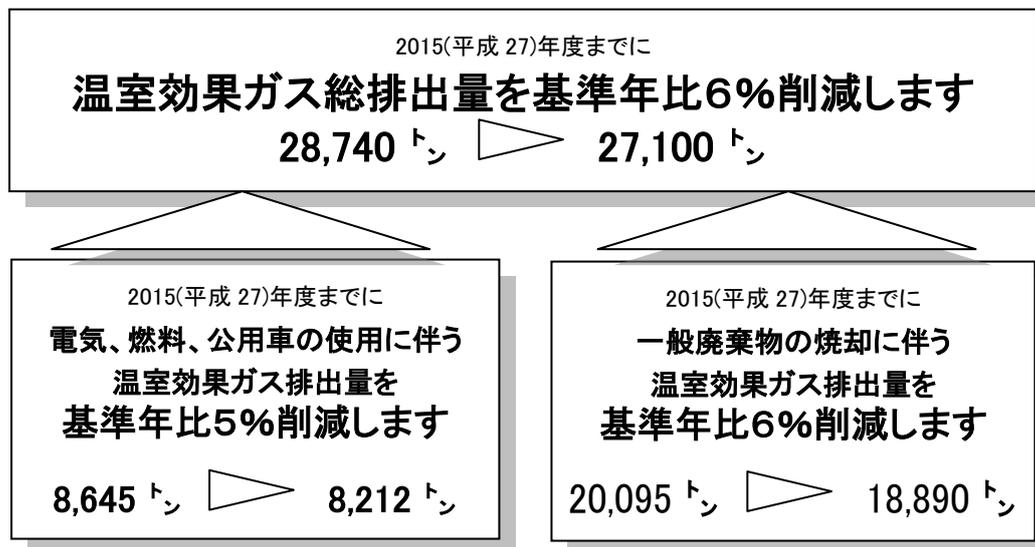
1	温室効果ガス総排出量の状況.....	2
2	個別項目別の温室効果ガス排出量の状況.....	3
	(1)施設利用に伴う燃料.....	3
	(2)自動車利用に伴う燃料.....	6
	(3)電気使用量.....	9
	(4)一般廃棄物焼却量(廃プラスチック焼却量).....	10
3	施設別の温室効果ガス排出量の状況.....	11
	(1)施設利用に伴う燃料.....	11
	(2)自動車利用に伴う燃料.....	21
	(3)電気使用量.....	27

温室効果ガス総排出量の削減

～ 地球温暖化対策実行計画の推進 ～

市の地球温暖化対策実行計画は、これまで「第一次計画(計画期間:2001(平成13)年度～2005(平成17)年度)」「第二次計画(計画期間:2006(平成18)年度～2010(平成22)年度)」を実行しており、2011(平成23)年度からは「第三次計画(計画期間:2011(平成23)年度～2015(平成27)年度)」を実行する計画となっています。

第三次計画の調査対象年度は平成23年度からとしています。22年度分の温室効果ガス排出量についても、第三次計画の報告書の形で点検・公表します。そのため、当報告書では、第三次計画と同様、**基準年を2009(平成21)年度、目標年を2015(平成27)年度**とします。



備考) 目標は有効数字4桁で丸めました。

図1 温室効果ガス総排出量の削減に係る目標

1 温室効果ガス総排出量の状況

22年度の温室効果ガス排出量は、28,243 t-CO₂で、全体としては基準年から1.7%の削減ができました。ごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量を削減できたことによるもので、電気、燃料、公用車の使用に伴う温室効果ガスについては、3.3%の増加となっています。

表1 温室効果ガスの総排出量の状況

区分	単位	第三次計画			
		基準年 2009 (平成21)年度 【A】	2010 (平成22)年度 【B】	対基準年 増減率 (【B】 - 【A】) 【A】	目標年 2015 (平成27)年度
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	28,740	28,243	- 1.7%	27,100 (-6%)
電気、燃料、公用車の使用に伴う温室効果ガス	t-CO ₂	8,645	8,930	+ 3.3%	8,212 (-5%)
燃料の使用（施設）	t-CO ₂	1,435	1,571	+ 9.5%	1,363
燃料の使用（自動車）	t-CO ₂	346	326	- 5.7%	329
電気の使用	t-CO ₂	6,851	7,020	+ 2.5%	6,508
その他	t-CO ₂	13	13	0.0%	12
ごみの焼却	t-CO ₂	20,095	19,313	- 3.9%	18,890 (-6%)
対前年増減割合	%	—	(-497t-CO ₂)	- 1.7%	—
累積増減割合 (H21 [△] - [△])	%	—	(-497t-CO ₂)	- 1.7%	-6.0%

備考) 1 その他：自動車の走行量、HFC
 2 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。

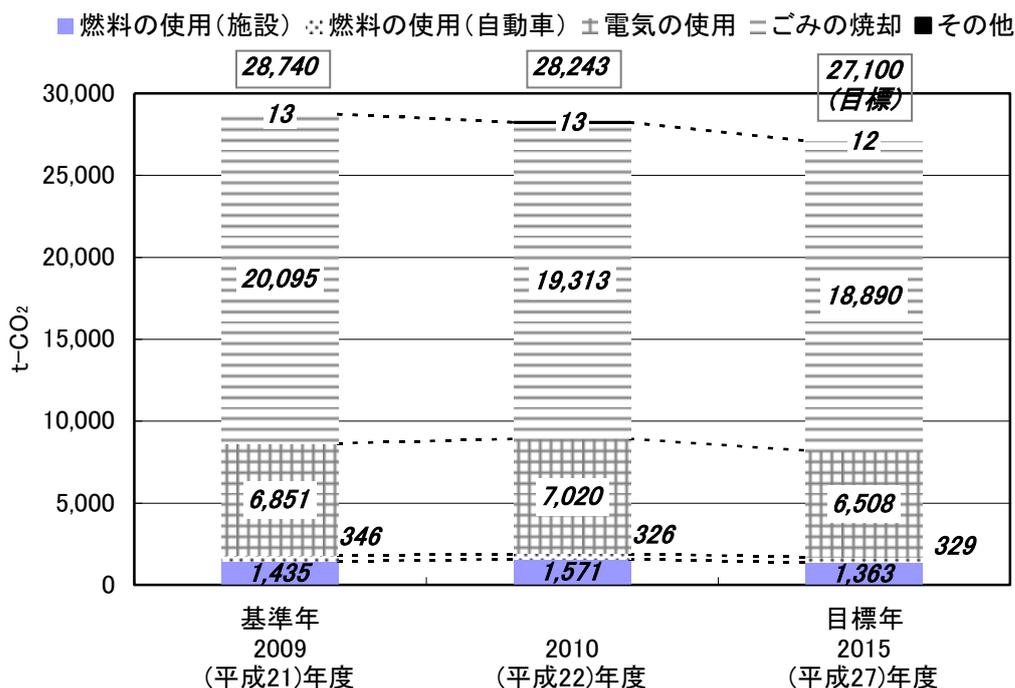


図2 温室効果ガスの総排出量の状況

2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況

(1) 施設利用に伴う燃料

施設利用に伴う燃料の使用量は、目標年までにそれぞれの燃料使用に伴う二酸化炭素換算値の合計値において5%を削減することを目指します。

2010(平成22)年度における温室効果ガス排出量は、基準年に対し、136,042kg-CO₂(9.5%)の増加となっていることから、目標を達成するためには、さらに208,160kg-CO₂(14.5%)の削減を図る必要があります。

各種燃料別に見ると、都市ガスを除く燃料使用量は減少しており、特にA重油が大幅に減少しています。一方、都市ガスの使用量は大きく増加しています。

2010(平成22)年度における燃料別の温室効果ガス排出割合は、都市ガスが90.1%と最も高い割合を占めており、次いで灯油(5.6%)という状況です。

表2 使用量及び温室効果ガス排出量の状況

項目	目標	単位	基準年 2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	対基準年 増減率	目標年 2015(平成27)年度
灯油	5%削減	L	36,428 (90,706)	35,041 (87,251)	- 3.8%	34,610 (86,170)
A重油	5%削減	L	14,950 (40,515)	6,850 (18,564)	- 54.2%	14,200 (38,490)
LPガス	5%削減	kg	16,498 (49,494)	16,411 (49,233)	- 0.5%	15,670 (47,020)
都市ガス	5%削減	m ³	562,513 (1,254,403)	635,028 (1,416,113)	+12.9%	534,400 (1,192,000)
温室効果ガス 排出量	5%削減	kg-CO ₂	1,435,118	1,571,160	+ 9.5%	1,363,000

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂)です。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。

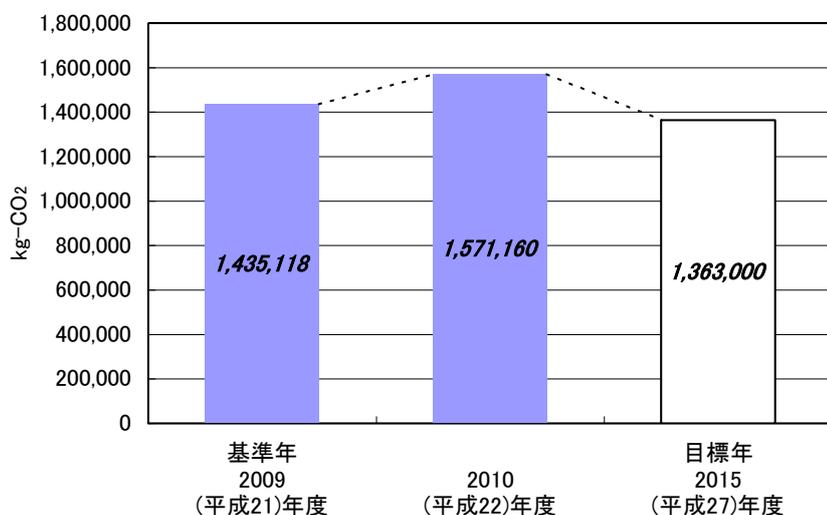


図3 温室効果ガスの排出量の状況

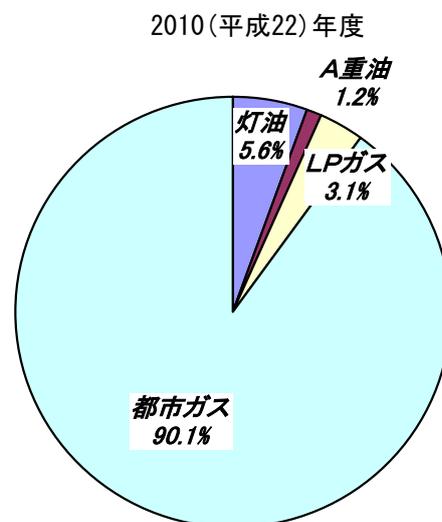


図4 温室効果ガスの排出割合の状況

①灯油の使用量

2010(平成22)年度の灯油の使用量は35,041Lであり、基準年の36,428Lと比較して1,387L、割合にして3.8%減少しました。温室効果ガス排出量は87,251kg-CO₂であり、基準年の90,706kg-CO₂と比較して3,455kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、使用量は431L(温室効果ガス排出量は1,081kg-CO₂)上回っており、目標を達成するためには、さらに1.2%削減する必要があります。

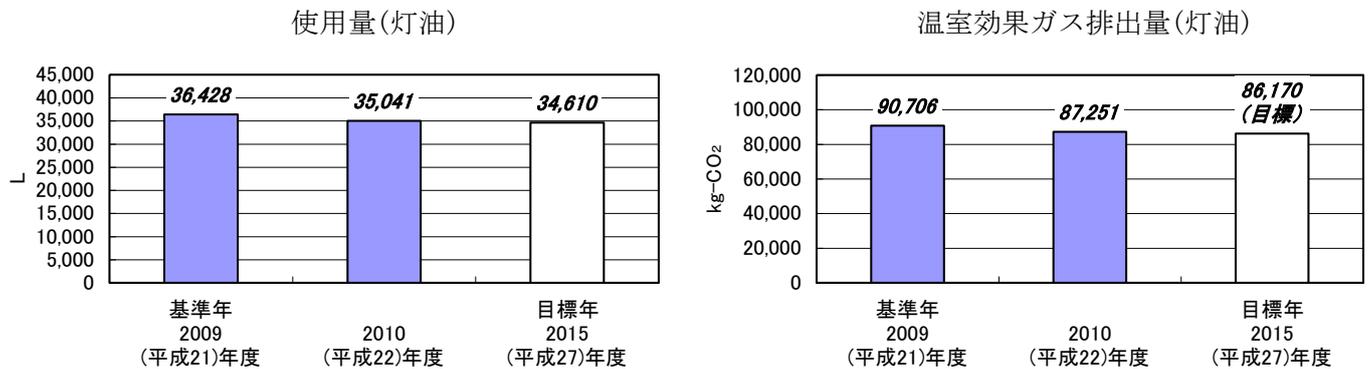


図5 使用量及び温室効果ガス排出量【灯油】

②A重油の使用量

2010(平成22)年度のA重油の使用量は6,850Lであり、基準年の14,950Lと比較して8,100L、割合にして54.2%減少しました。温室効果ガス排出量は18,564kg-CO₂であり、基準年の40,515kg-CO₂と比較して21,951kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、使用量は7,350L(温室効果ガス排出量は19,926kg-CO₂)下回っており、既に目標を達成しています。

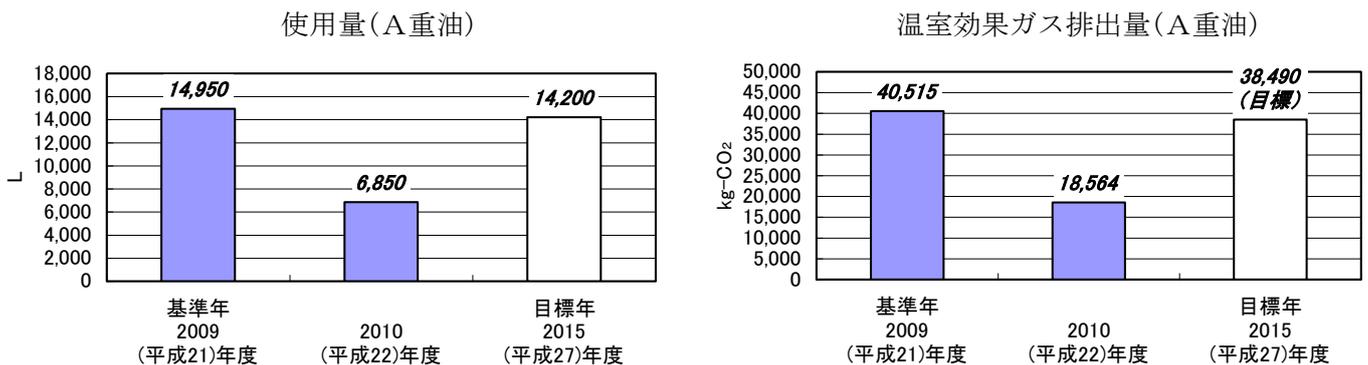


図6 使用量及び温室効果ガス排出量【A重油】

③LPガスの使用量

2010(平成22)年度のLPガスの使用量は16,411kgであり、基準年の16,498kgと比較して87kg、割合にして0.5%減少しました。温室効果ガス排出量は49,233kg-CO₂であり、基準年の49,494kg-CO₂と比較して261kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、使用量は741kg(温室効果ガス排出量は2,213kg-CO₂)上回っており、目標を達成するためには、さらに4.5%削減する必要があります。

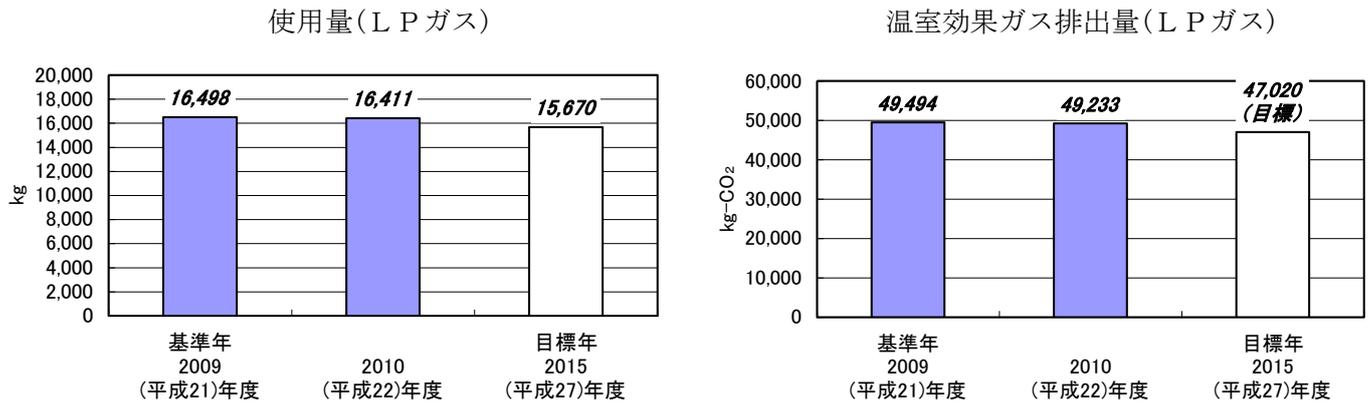


図7 使用量及び温室効果ガス排出量【LPガス】

④都市ガスの使用量

2010(平成22)年度の都市ガスの使用量は635,028m³であり、基準年の562,513m³と比較して72,515m³、割合にして12.9%増加しました。温室効果ガス排出量は1,416,113kg-CO₂であり、基準年の1,254,403kg-CO₂と比較して161,710kg-CO₂増加しました。

目標値と比較すると、使用量は100,628m³(温室効果ガス排出量は224,113kg-CO₂)上回っており、目標を達成するためには、現状から15.8%もの削減を図る必要があります。

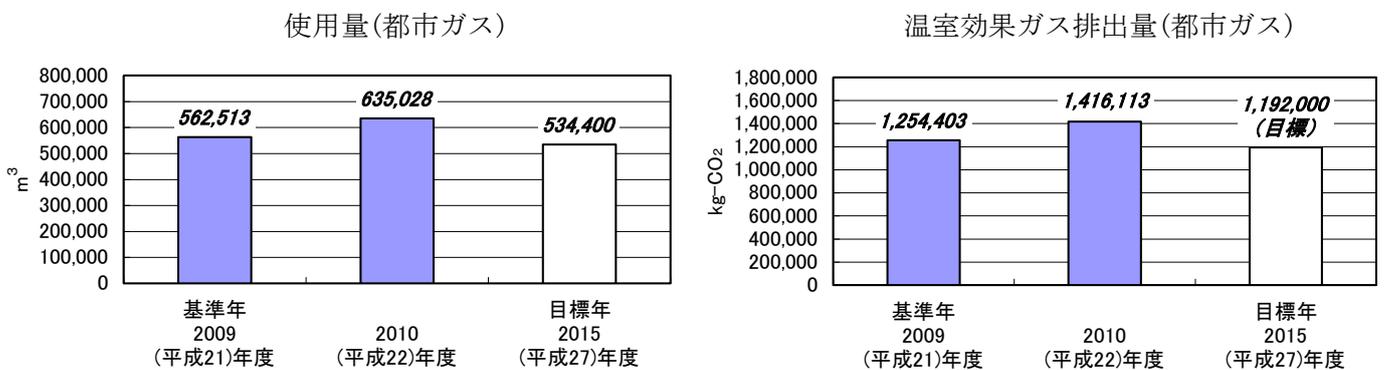


図8 使用量及び温室効果ガス排出量【都市ガス】

(2) 自動車利用に伴う燃料

自動車利用に伴う燃料の使用量は、目標年までにそれぞれの燃料使用に伴う二酸化炭素換算値の合計値において5%を削減することを目指します。

2010(平成22)年度における温室効果ガス排出量は、基準年に対し、19,589kg-CO₂(5.7%)の減少となっており、既に目標を達成しています。

なお、2010(平成22)年度における燃料別の温室効果ガス排出割合は、ガソリンが81.1%を占めており、軽油は14.7%、LPガスが4.2%という状況でした。

表3 使用量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	対基準年 増減率	目標年 2015(平成27)年度
ガソリン	5%削減	L	121,771 (282,507)	114,057 (264,613)	- 6.3%	115,700 (268,400)
軽油	5%削減	L	17,142 (44,225)	18,604 (47,998)	+ 8.5%	16,290 (42,010)
LPガス	5%削減	kg	6,398 (19,194)	4,575 (13,726)	-28.5%	6,080 (18,240)
温室効果ガス 排出量	5%削減	kg-CO ₂	345,926	326,337	- 5.7%	328,700

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂)です。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。

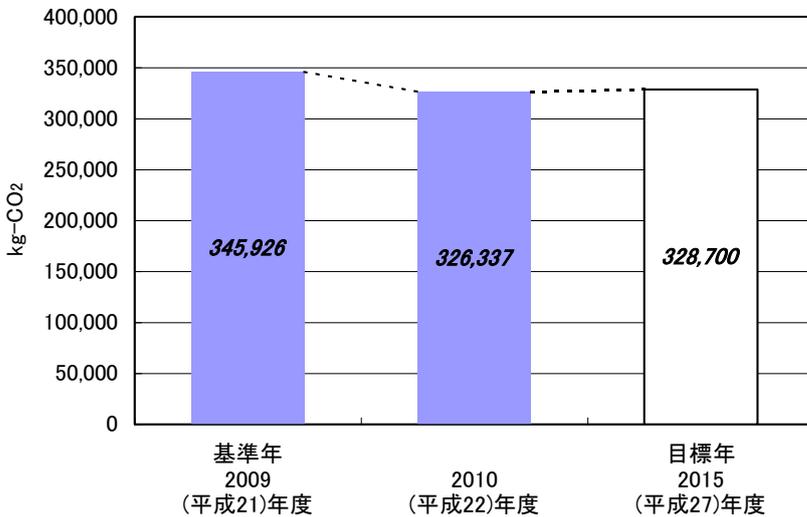


図9 温室効果ガスの排出量の状況

2010(平成22)年度

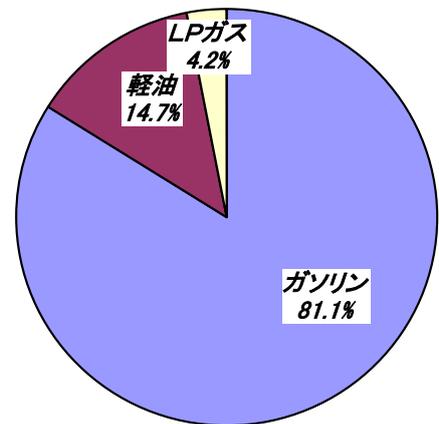


図10 温室効果ガスの排出割合の状況

①ガソリンの使用量

2010(平成22)年度のガソリンの使用量は114,057Lであり、基準年の121,771Lと比較して7,714L、割合にして6.3%減少しました。温室効果ガス排出量は264,613kg-CO₂であり、基準年の282,507kg-CO₂と比較して17,894kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、使用量は1,643L(温室効果ガス排出量は3,787kg-CO₂) 下回っており、既に目標を達成しています。

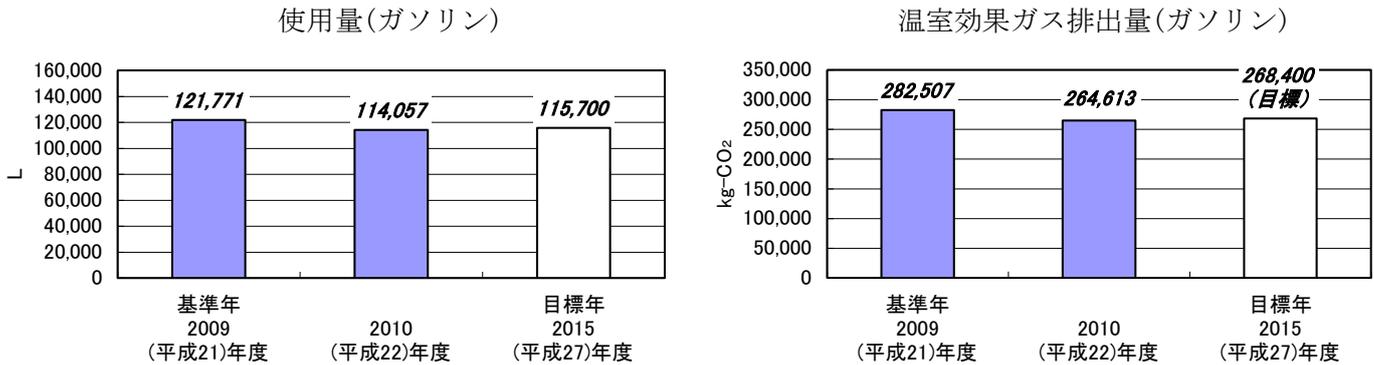


図 1 1 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

②軽油の使用量

2010(平成22)年度の軽油の使用量は18,604Lであり、基準年の17,142Lと比較して1,462L、割合にして8.5%増加しました。温室効果ガス排出量は47,998kg-CO₂であり、基準年の44,225kg-CO₂と比較して3,773kg-CO₂増加しました。

目標値と比較すると、使用量は2,314L(温室効果ガス排出量は5,988kg-CO₂) 上回っており、目標を達成するためには、現状から12.4%もの削減を図る必要があります。

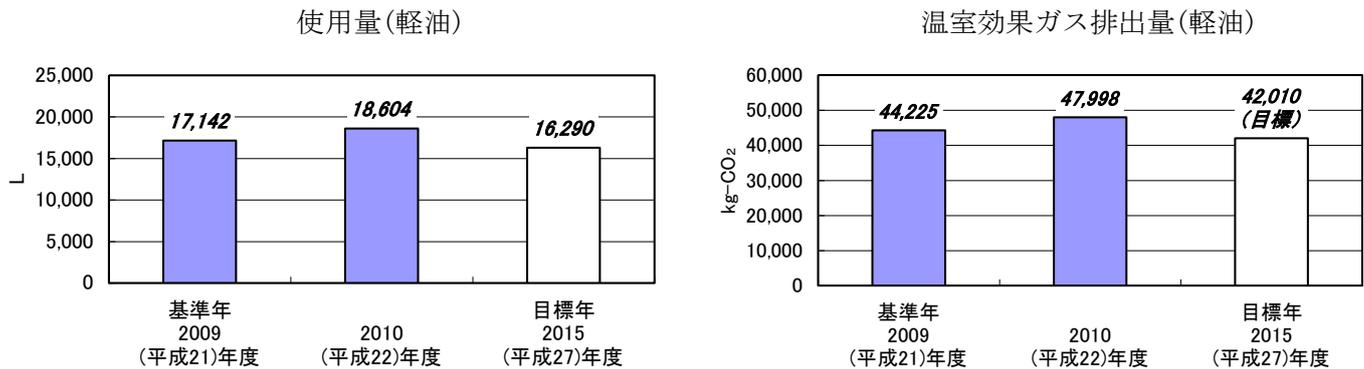


図 1 2 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ L P ガスの使用量

2010(平成22)年度のL P ガスの使用量は4,575kgであり、基準年の6,398kgと比較して1,823kg、割合にして28.5%減少しました。温室効果ガス排出量は13,726kg-CO₂であり、基準年の19,194kg-CO₂と比較して5,468kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、使用量は1,505kg(温室効果ガス排出量は4,514kg-CO₂)下回っており、既に目標を達成しています。

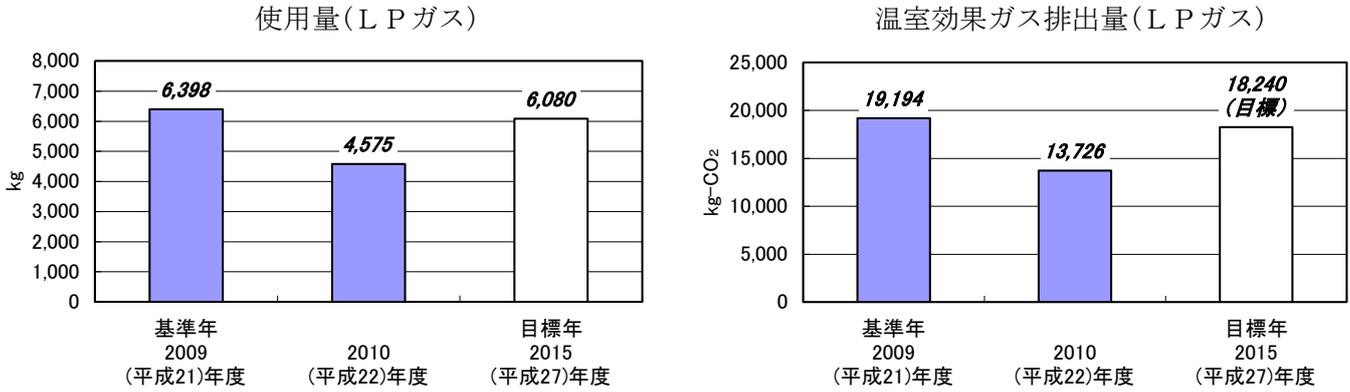


図 1 3 使用量及び温室効果ガス排出量【L P ガス】

(3) 電気使用量

電気使用量は、目標年までに5%を削減することを目指します。

2010(平成22)年度の電気使用量は16,793,246kWhであり、基準年の16,389,537kWhと比較して403,709kWh、割合にして2.5%増加しました。温室効果ガス排出量は7,019,577kg-CO₂であり、基準年の6,850,827kg-CO₂と比較して168,750kg-CO₂増加しました。

目標値と比較すると、使用量は1,223,246kWh(温室効果ガス排出量は511,577kg-CO₂)上回っており、目標を達成するためには、現状から7.3%削減を図る必要があります。

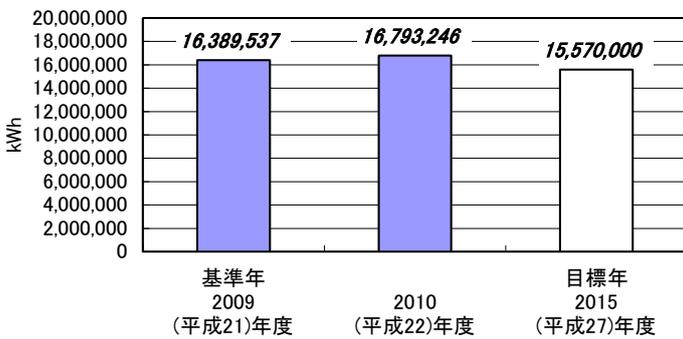
表4 使用量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	対基準年 増減率	目標年 2015(平成27)年度
電気使用量	5%削減	kWh	16,389,537 (6,850,827)	16,793,246 (7,019,577)	+ 2.5%	15,570,000 (6,508,000)

備考) 1 ()内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂)です。

2 目標値は有効数字4桁で丸めています。

使用量(電気使用量)



温室効果ガス排出量(電気使用量)

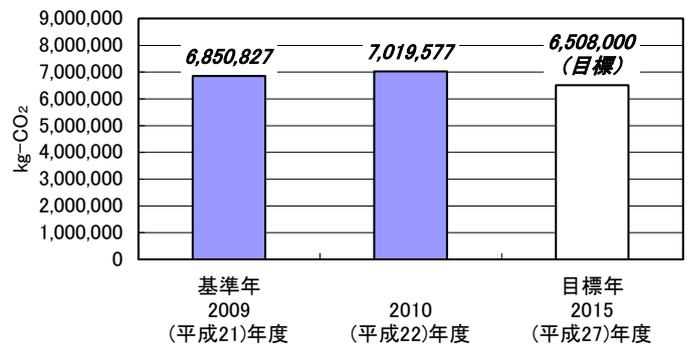


図14 使用量及び温室効果ガス排出量【電気使用量】

(4) 一般廃棄物焼却量(廃プラスチック焼却量)

一般廃棄物焼却量(廃プラスチック焼却量)は、目標年までにそれぞれ6%の削減を目指すこととしています。

2010(平成22)年度の一般廃棄物焼却量は30,856tであり、基準年の32,106tと比較して1,250t、割合にして3.9%減少しました。温室効果ガス排出量は542,972kg-CO₂であり、基準年の564,968kg-CO₂と比較して21,996kg-CO₂減少しました。

2010(平成22)年度の廃プラスチック焼却量は6,788tであり、基準年の7,063tと比較して275t、割合にして3.9%減少しました。温室効果ガス排出量は18,769,705kg-CO₂であり、基準年の19,530,080kg-CO₂と比較して760,375kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、一般廃棄物焼却量は676t(温室効果ガス排出量は11,872kg-CO₂)、廃プラスチック焼却量は148t(温室効果ガス排出量は413,643kg-CO₂)上回っており、目標を達成するためには、それぞれ2.1%削減する必要があります。

表5 焼却量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	対基準年 増減率	目標年 2015(平成27)年度
一般廃棄物 焼却量	6%削減	t	32,106 (564,968)	30,856 (542,972)	- 3.9%	30,180 (531,100)
廃プラスチック 焼却量	6%削減	t	7,063 (19,530,080)	6,788 (18,769,705)	- 3.9%	6,640 (18,360,000)

備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂)です。
 2 廃プラスチック焼却量は、一般廃棄物焼却量の22%で固定しています。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。

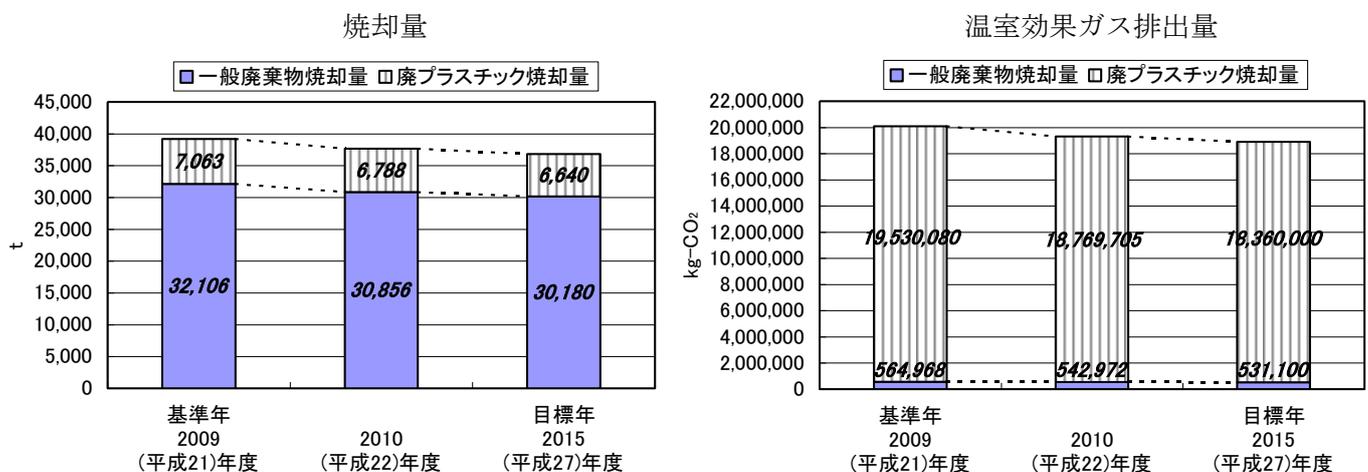


図15 焼却量及び温室効果ガス排出量

3 施設別の温室効果ガス排出量の状況

本計画では、電気・燃料等に係る温室効果ガスの削減目標(5%削減)を、施設ごとに一律にあてはめた参考値を設定し、全体の目標達成に向けた進捗状況を把握しています。我孫子市では、クリーンセンターの事業活動(ごみの焼却)に伴う温室効果ガス排出量が、全体の約7割を占めています。

表6 施設別の温室効果ガス排出量

区 分	基準年 2009 (平成21) 年度	2010 (平成22) 年度	対基準年 増減率
	kg-CO ₂	kg-CO ₂	%
市役所庁舎(本庁舎、西・東別館、庁舎分館)	1,154,382	1,181,192	2.3
行政サービスセンター	35,271	36,281	2.9
近隣センター	427,910	449,401	5.0
福祉施設	246,693	264,849	7.4
保育園	218,252	222,729	2.1
クリーンセンター	21,700,494	21,032,690	-3.1
消防本部	267,827	276,523	3.2
水道局	2,020,604	2,025,322	0.2
教育委員会	641,949	655,534	2.1
学校	2,026,769	2,098,238	3.5
我孫子市(全体)	28,740,151	28,242,759	-1.7

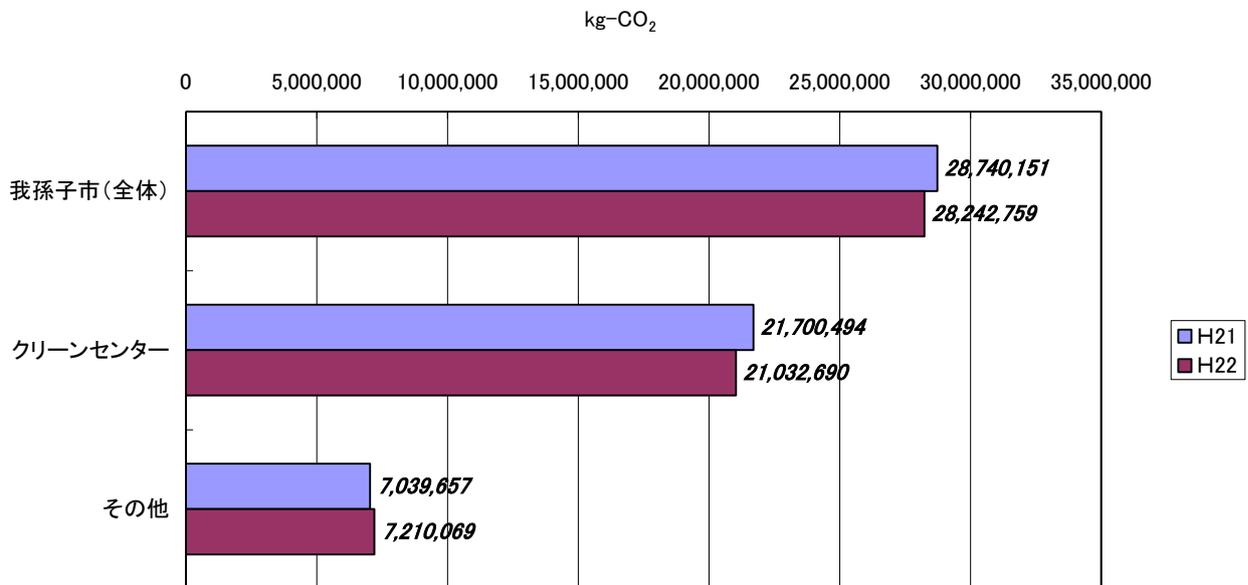


図16 施設別の温室効果ガス排出量(1)

あびこエコ・プロジェクト

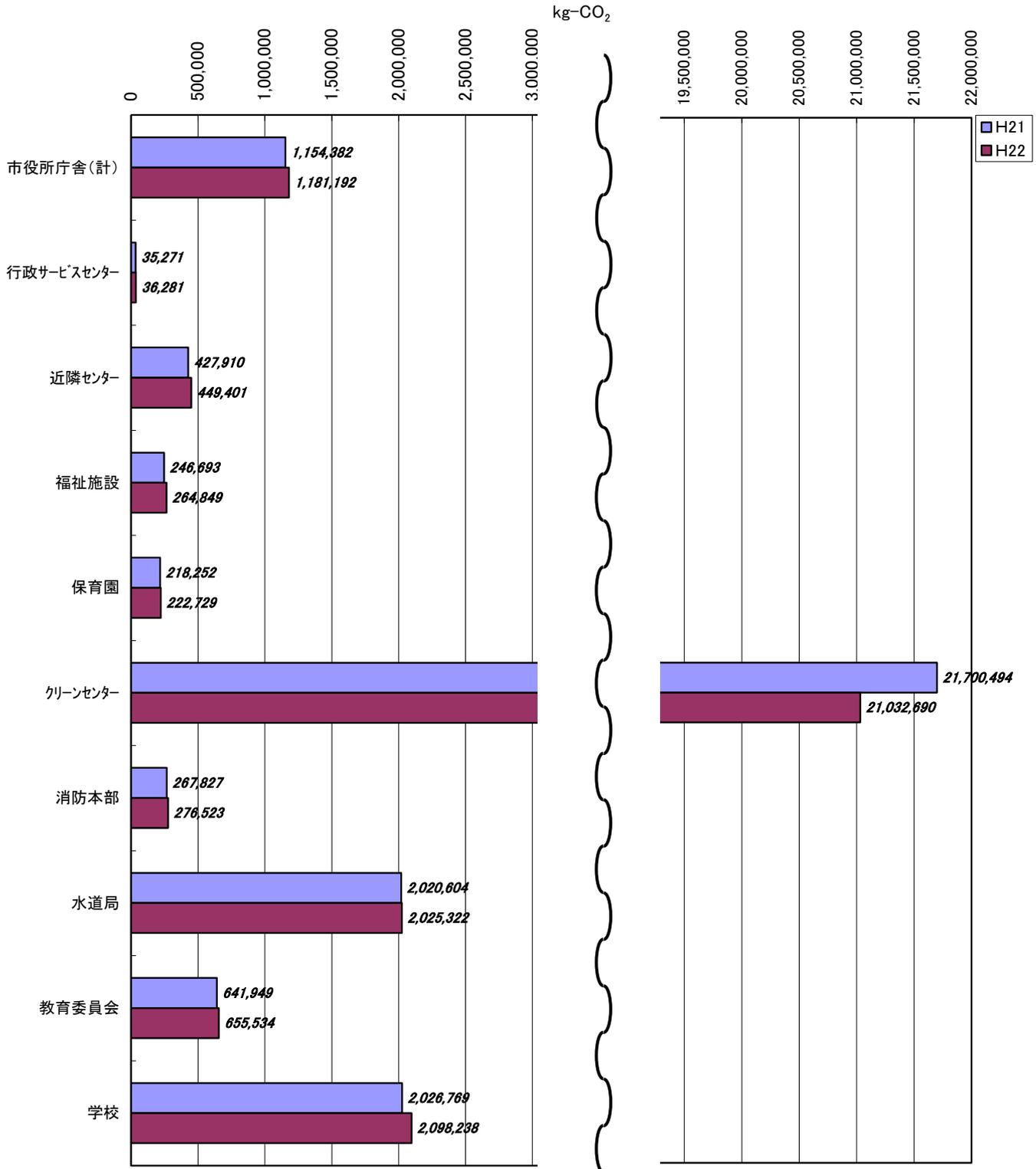


図 1 7 施設別の温室効果ガス排出量(2)

(1) 施設利用に伴う燃料

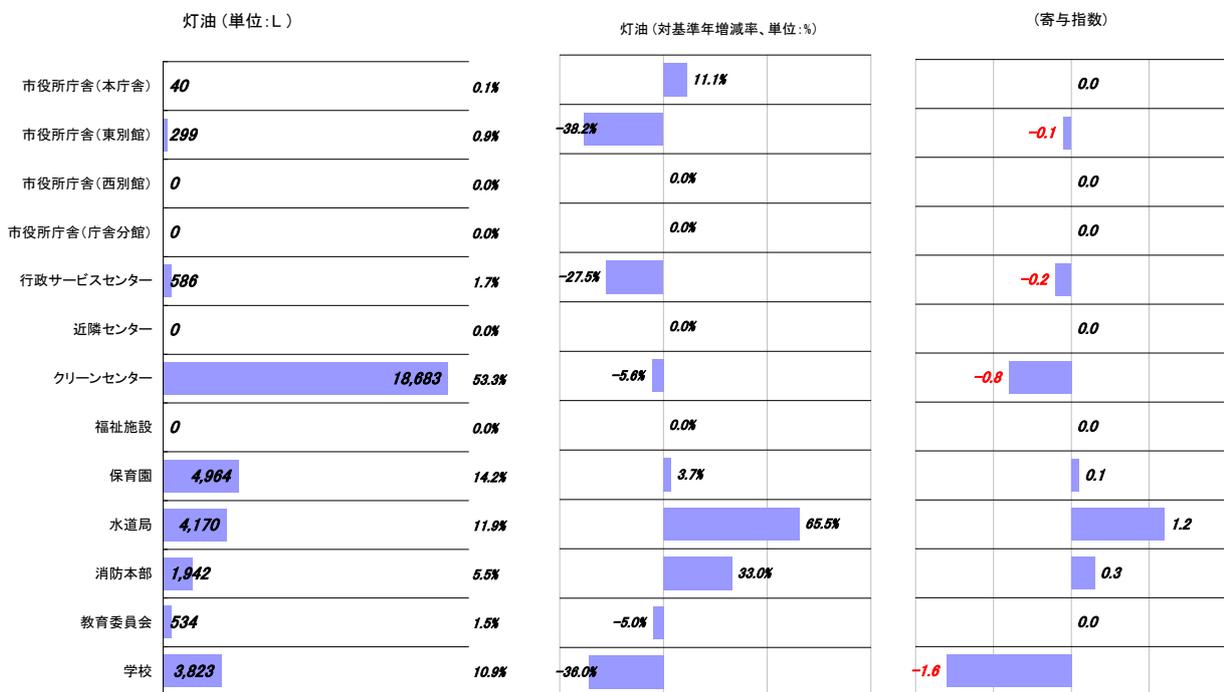
① 灯油の使用量

灯油の使用量は、クリーンセンターが18,683L(割合にして53.3%)と最も多くなっており、次いで保育園が4,964L(割合にして14.2%)という状況でした。

基準年と比較した増減率では、増加側では水道局の+65.5%が最も高く、次いで消防本部の+33.0%という状況でした。減少側では、市役所庁舎(東別館)の-38.2%、次いで、学校の-36.0%という状況でした。

また、市役所全体の灯油の使用量の増減に対する寄与指数は、増加側では水道局が+1.2ポイント、次いで消防本部が+0.3ポイントという状況でした。

減少側では学校が最も減少しており-1.6ポイント、次いでクリーンセンターの-0.8ポイントという状況でした。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図 1-8 灯油の使用量の状況

表7 灯油の使用量の状況

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (L)	2010(平成22)年度		参考値 (5%削減) (L)
		(L)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	520	339	-34.8%	494
市役所庁舎(本庁舎)	36	40	11.1%	34
市役所庁舎(東別館)	484	299	-38.2%	460
市役所庁舎(西別館)	0	0	—	0
市役所庁舎(庁舎分館)	0	0	—	0
行政サービスセンター	808	586	-27.5%	768
近隣センター	0	0	—	0
クリーンセンター	19,796	18,683	-5.6%	18,806
福祉施設	0	0	—	0
保育園	4,788	4,964	3.7%	4,549
水道局	2,520	4,170	65.5%	2,394
消防本部	1,460	1,942	33.0%	1,387
教育委員会	562	534	-5.0%	534
学校	5,974	3,823	-36.0%	5,675
我孫子市全体	36,428	35,041	-3.8%	34,607

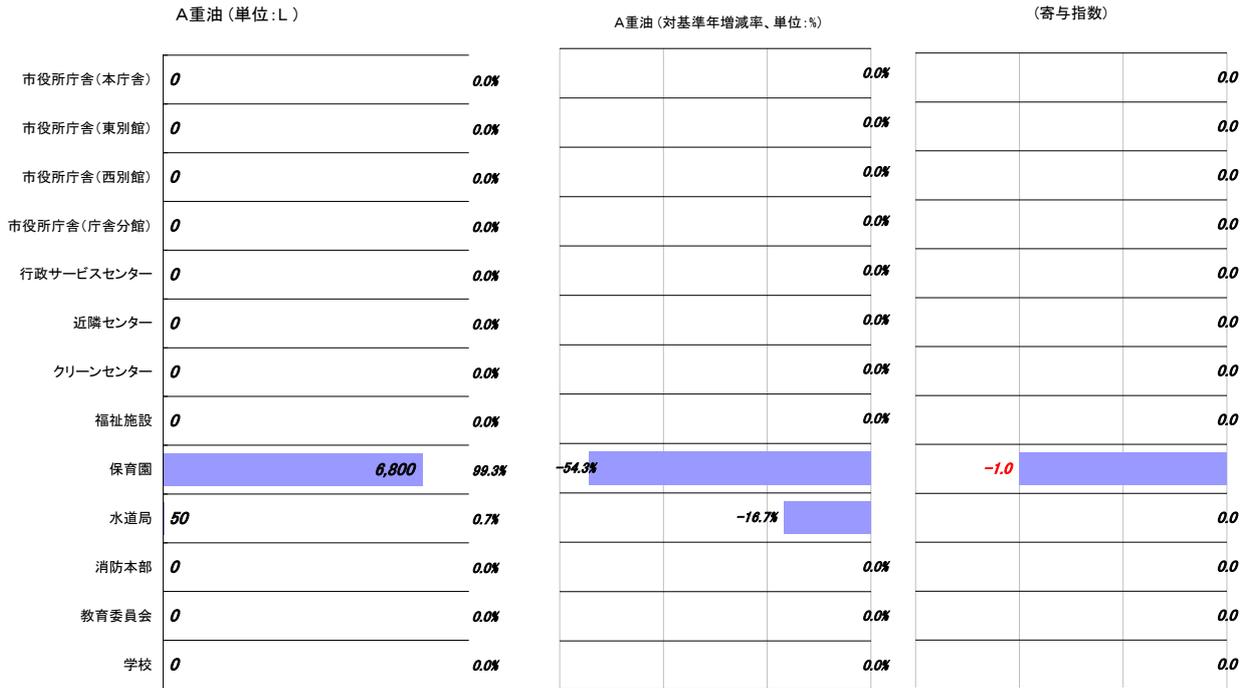
備考) 「—」は変化がないものです。

②A重油の使用量

A重油は、定常的な使用は保育園のみであり、6,800L(割合にして99.3%)という状況でした。

なお、水道局での使用は、妻子原浄水場の非常用発電機の点検運転によるものであり、施設の維持管理上で最低限必要な使用量となっています。

基準年と比較した増減率では、保育園が-54.3%と大幅な減少となっています。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図19 A重油の使用量の状況

表8 A重油の使用量の状況

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (L)	2010(平成22)年度		参考値 (5%削減) (L)
		(L)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	0	0	—	0
市役所庁舎(本庁舎)	0	0	—	0
市役所庁舎(東別館)	0	0	—	0
市役所庁舎(西別館)	0	0	—	0
市役所庁舎(庁舎分館)	0	0	—	0
行政サービスセンター	0	0	—	0
近隣センター	0	0	—	0
クリーンセンター	0	0	—	0
福祉施設	0	0	—	0
保育園	14,890	6,800	-54.3%	14,146
水道局	60	50	-16.7%	57
消防本部	0	0	—	0
教育委員会	0	0	—	0
学校	0	0	—	0
我孫子市全体	14,950	6,850	-54.2%	14,203

備考) 「—」は変化がないものです。

③LPガス（施設）の使用量

LPガス（施設）の使用量は、消防本部が7,066kg(割合にして43.1%)と最も多く、次に学校(一部の学校で利用されているプロパンガス)が6,170kg(割合にして37.6%)という状況でした。

基準年と比較した増減率では、増加側では教育委員会が+126.3%、次いで消防本部の+5.5%という状況でした。減少側では、近隣センターが-39.1%となっており、次いでクリーンセンターの-19.8%という状況でした。

また、施設で利用するLPガス使用量の増減に対する寄与指数は、増加側では消防本部が+4.3ポイントと最も高く、次いで学校の+1.8ポイントという状況でした。減少側ではクリーンセンターの-7.0ポイント、次いで水道局の-0.3ポイントという状況でした。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図20 LPガス（施設）の使用量の状況

表9 LPガス（施設）の使用量の状況【LPガス】

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (kg)	2010(平成22)年度		参考値 (5%削減) (kg)
		(kg)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	411	390	-5.2%	390
市役所庁舎（本庁舎）	0	0	—	0
市役所庁舎（東別館）	0	0	—	0
市役所庁舎（西別館）	411	390	-5.2%	390
市役所庁舎（庁舎分館）	0	0	—	0
行政サービスセンター	15	13	-10.3%	14
近隣センター	34	21	-39.1%	32
クリーンセンター	3,050	2,446	-19.8%	2,898
福祉施設	0	0	—	0
保育園	0	0	—	0
水道局	242	215	-11.0%	230
消防本部	6,695	7,066	5.5%	6,360
教育委員会	40	91	126.3%	38
学校	6,011	6,170	2.6%	5,710
我孫子市全体	16,498	16,411	-0.5%	15,672

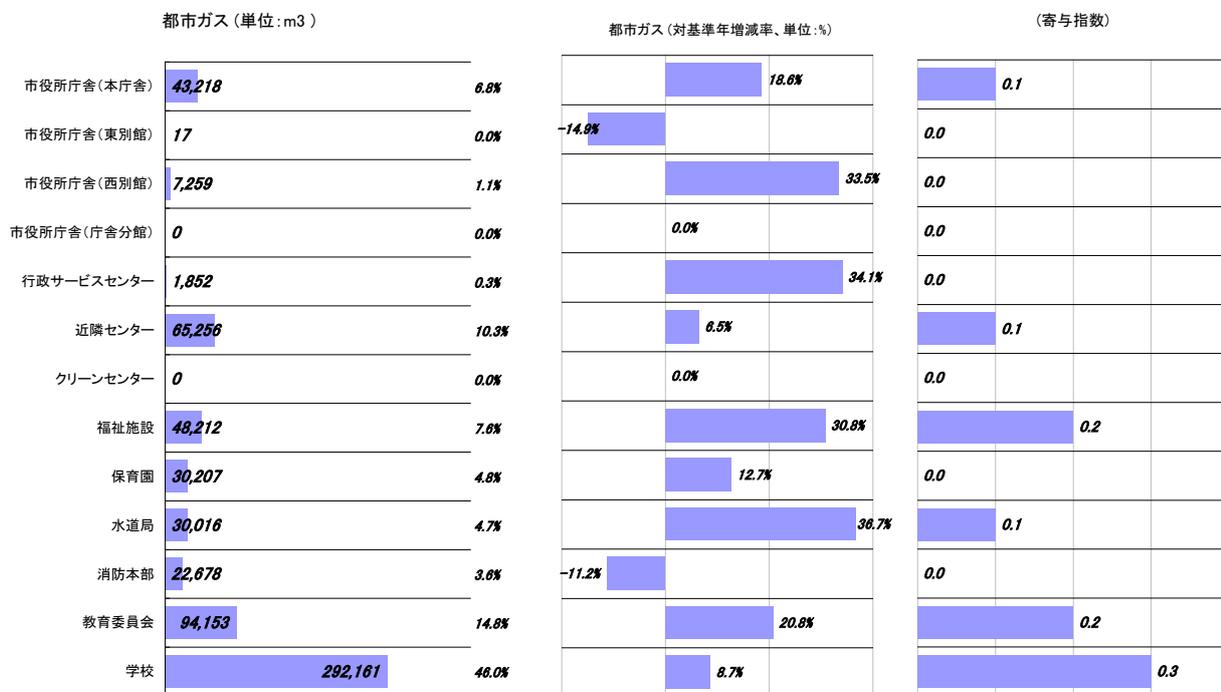
備考) 「—」は変化がないものです。

④都市ガスの使用量

都市ガスの使用量は、学校が292,161m³ (割合にして46.0%)と最も多く、次いで教育委員会が94,153m³ (割合にして14.8%)という状況でした。

基準年と比較した増減率では、増加側では水道局が+36.7%となっており、次いで行政サービスセンターの+34.1%という状況でした。2010(平成22)年度は、猛暑の影響で、空調に都市ガスを使用している施設の多くで、使用量の増加がみられました。減少側では、市役所庁舎(東別館)が-14.9%、次いで消防本部の-11.2%という状況でした。

また、市役所全体の都市ガスの使用量の増減に対する寄与指数は、増加側では学校が+0.3ポイントと最も高く、次いで福祉施設及び教育委員会の+0.2ポイントという状況でした。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図 2 1 都市ガスの使用量の状況

表 10 都市ガスの使用量の状況

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (m ³)	2010(平成22)年度		参考値 (5%削減) (m ³)
		(m ³)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	41,884	50,493	20.6%	39,790
市役所庁舎(本庁舎)	36,425	43,218	18.6%	34,604
市役所庁舎(東別館)	20	17	-14.9%	19
市役所庁舎(西別館)	5,439	7,259	33.5%	5,167
市役所庁舎(庁舎分館)	0	0	—	0
行政サービスセンター	1,381	1,852	34.1%	1,312
近隣センター	61,264	65,256	6.5%	58,201
クリーンセンター	0	0	—	0
福祉施設	36,866	48,212	30.8%	35,023
保育園	26,802	30,207	12.7%	25,462
水道局	21,964	30,016	36.7%	20,866
消防本部	25,533	22,678	-11.2%	24,256
教育委員会	77,946	94,153	20.8%	74,048
学校	268,873	292,161	8.7%	255,429
我孫子市全体	562,513	635,028	12.9%	534,387

備考) 「—」は変化がないものです。

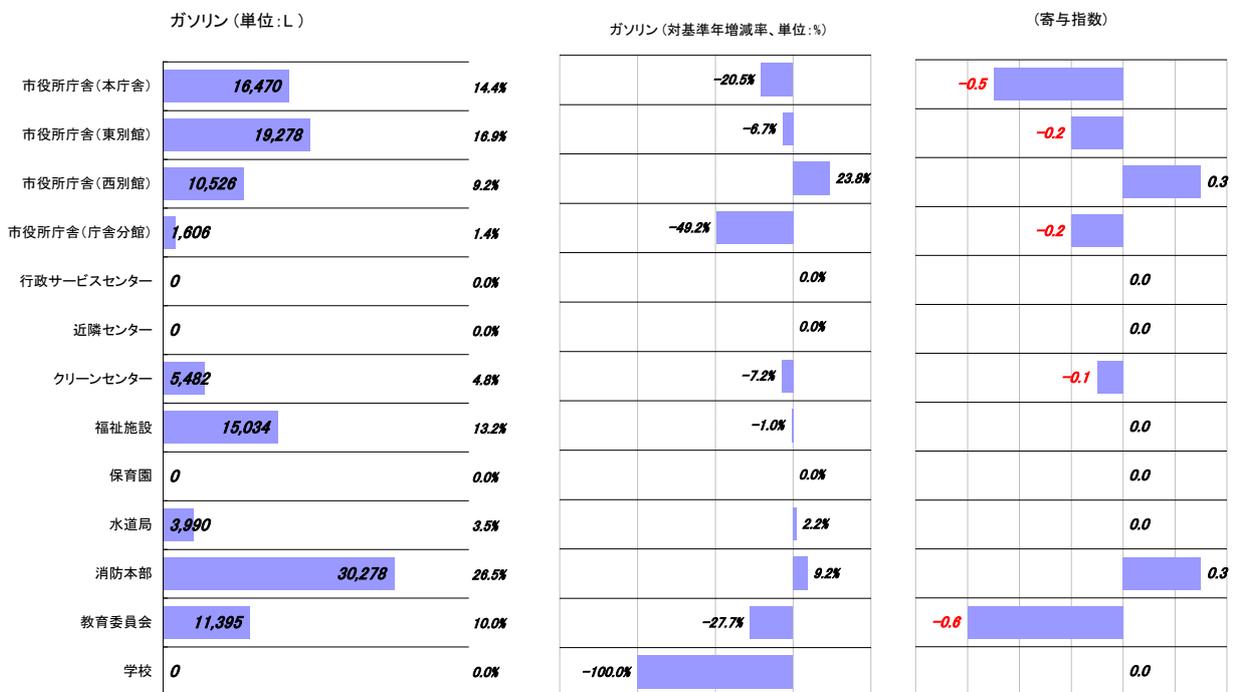
(2) 自動車利用に伴う燃料

① ガソリンの使用量

ガソリンの使用量は、消防本部が30,278L(割合にして26.5%)と最も多く、次いで市役所庁舎(東別館)の19,278L(割合にして16.9%)という状況でした。

基準年と比較した増減率では、増加側は市役所庁舎(西別館)が+23.8%、次いで消防本部の+9.2%という状況でした。減少側では、学校が全量減少(-100.0%)となった他、市役所庁舎(庁舎分館)の-49.2%、次いで教育委員会の-27.7%という状況でした。

また、市役所全体のガソリンの使用量の増減に対する寄与指数は、増加側では市役所庁舎(西別館)及び消防本部が+0.3ポイントという状況でした。減少側では教育委員会の-0.6ポイント、次いで市役所庁舎(本庁舎)の-0.5ポイントという状況でした。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図 2 2 ガソリンの使用量の状況

表 1 1 ガソリンの使用量の状況

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (L)	2010(平成 22)年度		参考値 (5%削減) (L)
		(L)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	53,034	47,879	-9.7%	50,383
市役所庁舎(本庁舎)	20,710	16,470	-20.5%	19,675
市役所庁舎(東別館)	20,658	19,278	-6.7%	19,625
市役所庁舎(西別館)	8,504	10,526	23.8%	8,079
市役所庁舎(庁舎分館)	3,162	1,606	-49.2%	3,004
行政サービスセンター	0	0	—	0
近隣センター	0	0	—	0
クリーンセンター	5,904	5,482	-7.2%	5,609
福祉施設	15,184	15,034	-1.0%	14,425
保育園	0	0	—	0
水道局	3,905	3,990	2.2%	3,710
消防本部	27,721	30,278	9.2%	26,335
教育委員会	15,753	11,395	-27.7%	14,965
学校	270	0	-100.0%	257
我孫子市全体	121,771	114,057	-6.3%	115,684

備考) 「—」は変化がないものです。

②軽油の使用量

軽油の使用量は、消防本部が9,712L(割合にして52.2%)と最も多く、次いでクリーンセンターが5,647L(割合にして30.4%)という状況でした。

基準年と比較すると、増加側では市役所庁舎(東別館)が+64.6%となっており、次いで消防本部が+16.1%という状況であり、減少側では、市役所庁舎(西別館)及び学校が全量減少(-100.0%)となった他、クリーンセンターが-13.9%という状況でした。

また、市役所全体の軽油の使用量の増減に対する寄与指数では、増加側は消防本部の+0.9ポイントが最も高く、次いで市役所庁舎(東別館)の+0.7ポイントという状況です。減少側ではクリーンセンターの-0.6ポイントが最も高いという状況でした。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図 2 3 軽油の使用量の状況

表 1 2 軽油の使用量の状況

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (L)	2010(平成 22)年度		参考値 (5%削減) (L)
		(L)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	1,684	2,755	63.6%	1,601
市役所庁舎(本庁舎)	0	0	—	0
市役所庁舎(東別館)	1,674	2,755	64.6%	1,591
市役所庁舎(西別館)	10	0	-100.0%	10
市役所庁舎(庁舎分館)	0	0	—	0
行政サービスセンター	0	0	—	0
近隣センター	0	0	—	0
クリーンセンター	6,557	5,647	-13.9%	6,229
福祉施設	0	0	—	0
保育園	0	0	—	0
水道局	0	0	—	0
消防本部	8,366	9,712	16.1%	7,948
教育委員会	500	490	-2.0%	475
学校	35	0	-100.0%	33
我孫子市全体	17,142	18,604	8.5%	16,286

備考) 「—」は変化がないものです。

③LPガス（自動車）の使用量

LPガス（自動車）の使用量は、クリーンセンターが2,835kg（割合にして62.0%）と最も多く、次に市役所庁舎（東別館）が1,740kg（割合にして38.0%）という状況でした。

基準年と比較した増減率では、減少側では市役所庁舎（東別館）の-49.8%、次いでクリーンセンターの-3.2%という状況でした。

また、市役所全体のLPガスの使用量の増減に対する寄与指数は、減少側では市役所庁舎（東別館）の-0.9ポイント、次いでクリーンセンターの-0.1という状況でした。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設が増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図24 LPガス（自動車）の使用量の状況

表 1 3 L P ガス（自動車）の使用量の状況【L P ガス】

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (kg)	2010(平成 22)年度		参考値 (5%削減) (kg)
		(kg)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	3,469	1,740	-49.8%	3,295
市役所庁舎（本庁舎）	0	0	—	0
市役所庁舎（東別館）	3,469	1,740	-49.8%	3,295
市役所庁舎（西別館）	0	0	—	0
市役所庁舎（庁舎分館）	0	0	—	0
行政サービスセンター	0	0	—	0
近隣センター	0	0	—	0
クリーンセンター	2,929	2,835	-3.2%	2,783
福祉施設	0	0	—	0
保育園	0	0	—	0
水道局	0	0	—	0
消防本部	0	0	—	0
教育委員会	0	0	—	0
学校	0	0	—	0
我孫子市全体	6,398	4,575	-28.5%	6,078

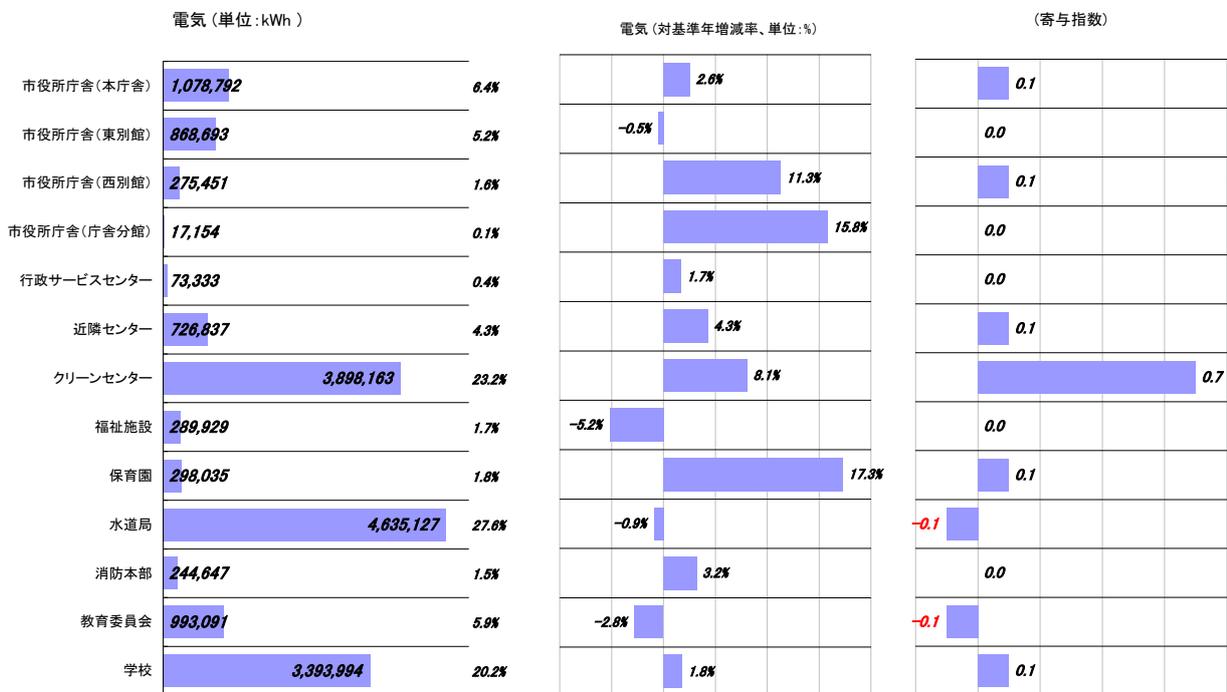
備考) 「—」は変化がないものです。

(3) 電気使用量

電気使用量は、水道局が4,635,127kWh(割合にして27.6%)と最も多く、次いでクリーンセンターが3,898,163kWh(割合にして23.2%)という状況でした。

基準年と比較した増減率では、増加側では保育園が+17.3%となっており、次いで市役所庁舎(庁舎分館)が+15.8%となっています。減少側では、福祉施設が-5.2%となっており、次いで教育委員会の-2.8%という状況でした。

また、市役所全体の電気使用量の増減に対する寄与指数は、増加側ではクリーンセンターが+0.7ポイントと最も高く、次いで市役所庁舎(本庁舎)、市役所庁舎(西別館)、近隣センター、保育園及び学校の+0.1ポイントという状況でした。減少側では水道局及び教育委員会が-0.1ポイントという状況です。



備考) 寄与指数は、当該施設での増減を全体の増減で除した数値で、当該施設の増減が全体の増減にどの程度影響しているかを示します。

図 2 5 電気の使用量の状況

表 1 4 電気の使用量の状況

区 分	基準年 2009 (平成21)年度 (kWh)	2010(平成 22)年度		参考値 (5%削減) (kWh)
		(kWh)	対基準年 増減率	
市役所庁舎	2,186,518	2,240,090	2.5%	2,077,194
市役所庁舎(本庁舎)	1,051,009	1,078,792	2.6%	998,459
市役所庁舎(東別館)	873,288	868,693	-0.5%	829,624
市役所庁舎(西別館)	247,413	275,451	11.3%	235,043
市役所庁舎(庁舎分館)	14,808	17,154	15.8%	14,068
行政サービスセンター	72,095	73,333	1.7%	68,490
近隣センター	696,625	726,837	4.3%	661,794
クリーンセンター	3,604,502	3,898,163	8.1%	3,424,277
福祉施設	305,822	289,929	-5.2%	290,531
保育園	254,089	298,035	17.3%	241,385
水道局	4,676,845	4,635,127	-0.9%	4,443,003
消防本部	236,995	244,647	3.2%	225,145
教育委員会	1,022,177	993,091	-2.8%	971,068
学校	3,333,869	3,393,994	1.8%	3,167,176
我孫子市全体	16,389,537	16,793,246	2.5%	15,570,063